

## 池巡り自然探勝路：白鳥山

この地域のより古い山のひとつである白鳥山は、およそ 10 万年前の火山活動によって形成されました。その数万年後に発生した噴火によってもとの火口の一部が崩壊し、白紫池が形成されました。

### 韓国岳より北西の最高地点

標高 1,363m の白鳥山の山頂は、ジオパークにおける韓国岳以北西の最高地点です。ここからは近くの白紫池と六観音御池だけでなく、北東の甑岳、東のかなたの夷守岳、南東の硫黄山と韓国岳、さらにはるか南の鹿児島湾の桜島までも見晴らす素晴らしい景色が望めます。

風が強く土壌に乏しいここ、白鳥山の上層で育つことができるのは最も強い植物だけです。そのような植物にはミヤマキリシマ (*Rhododendron kiusianum*) や夏に可憐な白い花を咲かせるノリウツギ、ツタウルシが含まれます。また、トンボも獲物を求めて飛び交います。

### 六観音御池に向かう道沿いに立つスギの巨木

山の下方では、植生は温帯林と暖温帯林の混合に戻ります。この植生は、アカマツのような針葉樹とブナやミズナラなどの落葉樹の両方が生育可能な緯度と高度に位置するこの国立公園の特徴です。この場所の落葉樹の葉は、標高の低い地域より少し早い 10 月中旬に金と真紅に色付きます。春になると濃い色の松葉と明るい色のブナやミズナラが印象的なコントラストを織りなします

六観音御池に続く道を下っていく途中、道の左側にそびえ立つ巨大なスギの木にご注目ください。優に樹齢 500 年を超えるこのスギは、九州中部あるいは南部の大きな神社にあった木を、おそらくは湖畔にある観音堂の参拝者がここに移植したものとされています。